

シンクロの藤丸さんが指導

三郷・南中「JOCオリンピック教室」



三郷市立南中学校（広木友和校長、生徒398人）で15日、『オリンピック』（オリンピック出場経験者）による「JOCオリンピック教室」が開かれた。

オリンピックに自身の経験を通して、オリンピック思想やオリンピックの価値を伝えてもらい、生徒たちの日常生活に生かしてもらうのを目的に2012年から開かれている授業で今回は、同校の2年生109人が参加した。

1、2校時の2年2組（36人）の授業の講師は、アテネ五輪（01年）でチーム準優勝に輝いた、水泳・シンクロナイズド（現・アーティスティック）スイミングの藤丸真世さん（39）。藤丸さんはまず、実技でストレッチから横列走行、大縄跳びなどをチームに分けて指導し、「どうやって列を乱さずに走行でき、飛ぶ回数を増やすことができるか」と目標を設定し、仲間意識を持つことの重要性を話した。

一方、座学では、五輪映

像を鑑賞し、自身の挫折経験や友人からの励ましで、再び闘志に火がついたことなどを語り、エクセレンス（卓越）、フレンドシップ（友情）、リスペクト（敬意）が大切と説いた。写真。

前島侑海君（13）は「オリンピック選手の話聞き、部活や勉強にさらに励もうと思った。八木郷小の時にラジオ体操で金賞に輝いたのも、強い気持ちがあったからだと思う」と話した。

授業を行った藤丸さんは「生徒たちは目が輝いていて元気だった。エネルギーをもらい、再びスイミングに挑戦する力をいただいた」と感想を話した。